



ごあいさつ（創刊にあたって）

あかしあ台小学校区まちづくり連絡協議会
会長 片岡 琢磨

あかしあ台小学校区は、昭和63年に入居が始まってから27年の年月が経過しました。その間、自治会をはじめ民生委員・児童委員、青少年補導員、PTA、あかしあクラブ、体育振興会、スポーツクラブ21、ふれあい活動推進協議会、健康推進委員など多くの団体によって地域づくりが進められ、良好な環境や活発な交流の場が整備されてきました。また、これらの組織をゆるやかに横に繋ぐプログラム会も組織され、お互いに連携しながら地域づくりを進めてきました。

しかし、四半世紀を越える時の流れの中で、あかしあ台小学校区にも高齢化・少子化の波は押し寄せ、住民のニーズも変化してきました。また、地域内で解決しなければならない問題も多様化してきました。

昨年7月に、これらの時代の動きに対応し、将来を見据えた「まちづくりの目標」と「地域の課題」を共有し、これからのあかしあ台地域におけるまちづくりのあり方を検討するために「あかしあ台まちづくり推進準備会」を立ち上げました。

準備会では、まちづくりの専門家・経験者や行政等の意見を聞き話合った結果、まちの課題解決に向けて地域で活動する各種団体が連携し力を合わせて取り組む場として「あかしあ台小学校区まちづくり連絡協議会」を設立する運びとなりました。この度、まち協の設立経緯および活動内容を皆さまにお知らせするために、この「まち協ニュース創刊号」を発行することになりました。今後とも、まち協の活動についてご理解頂きますとともに今後ともご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

なぜ、今、まちづくり協議会か！

あかしあ台小学校区では、あかしあ台及びさくら坂地区それぞれに住民の自治組織として自治会を設立し住みやすいまちづくりを目指してきました。しかし、まち開きから27年が経ち高齢化やニーズの多様化などが進展し、それらに的確に対応出来ているとは言いがたい状況になってきており、お世話をする事への負担感が出てきているとともに地域行事への参加が減少するなど地域活動の停滞を招いているところがみられるようになってきています。

後述するキックオフミーティングでの講師の先生の話や先進事例調査・ワークショップを進める中で、こういった問題に対して、自治会のような地縁だけのつながりだけでなくスポーツや趣味・ボランティア活動などのテーマでつながっている人達をも含めた多くの地域活動団体等と連携がとれている、いわゆる、ネットワーク型と言われる形態の組織を導入して地域活動を展開しているところが比較的上手くいって行っていることがわかりました。

現状の階層型組織における活動の仕組みは、組織で定められた役割を輪番制で引き継いでやっていくものです。これに対して、ネットワーク型組織では、地域の課題解決に当たって、やりたい人がやりたいテーマで取り組むことを基本にしていて、その人が出来なくなったときにはテーマでつながっている別の人が別の形で引き継いでやっていくという仕組みと考えられています。

今後のまちづくり組織としては、このようなネットワーク型の導入が必要と考えられます。ただし、都市景観のルールづくりなどは従来の階層型組織でないと上手くいかないこともあり、2つの形態を両輪とする組織の構築が必要と考えられています。



キックオフミーティング (平成26年10月11日) 「みんなで楽しくまちづくり」

まちづくり連絡協議会の設立までには、紆余曲折がありました。将来を見据えたまちづくりに向けて最初に取り組んだのは、まちづくりキックオフミーティングです。この目的は、あかしあ台小学校区の将来を見据えたまちづくりのきっかけづくりです。近畿大学の久(ひさ)先生に基調講演をお願いするとともに模範的まちづくりの取り組みをされている市民活動家やまちづくりの専門家などをお招きしてパネルディスカッションを行いました。

ここで話されたことは、示唆に富むものばかりでした。最も印象に残ったことは、「これからのまちづくりは、自発的自律がキー、意欲のあるものがやりたいことを自発的に自律してやれるようにする、その「しかけ」として、組織では緩やかなネットワークづくり（その1つがまちづくり協議会）が有効である。」ということでした。



キックオフミーティングの様子

先進地視察 (平成 26 年 11 月 29 日)

「千里ニュータウン、再生のまちづくりに学ぶ」

次に、取り組んだのは、まちづくり先進地の視察です。この目的は、まちづくりの先進地「千里ニュータウン」に学ぶことです。リーダーの山本茂氏に講演をお願いするとともにまちの現状をご案内戴きました。50年経ち樹木が大きく成長している様子、戸建敷地分割現場、カフェ体験など先進地の状況を見学できました。また、ニュータウンを元気にした50のアイデア展の見学もしました。空き家活用、公園管理受託、高齢者困りごとサービスなど面白い企画が盛りだくさんでした。

千里ニュータウンの課題は、わが街の課題と極めて共通していました。そして、更なる今後の取り組みの視点として指摘された、①地域や人のために何かしたい人の力を発揮できる仕組み・場づくりの充実、②居心地の良い、歩いて楽しいまちづくりは、私どもの今後の取り組みの模範になりうると感じました。



千里ニュータウン見学の様子



50のアイデア展の見学

まちづくりワークショップ

第1回 (12/17) あかしあ台コミュニティの「これまで」

第2回 (1/21) あかしあ台コミュニティの「ちょっと未来」

第3回 (2/18) あかしあ台コミュニティの「これから」

私どものもう1つの取り組みは、ワークショップの開催です。この目的は、まちの課題整理と課題解決に向けた組織の在り方の検討です。ご指導は県立人と自然の博物館・県立大准教授の赤澤先生にお願いしました。ワークショップには、まちづくり推進準備会メンバーを主にして27名の参加がありました。一般からも3名参加頂きました。そして、ワークショップの実施に当たっては、3グループ分けて3回（12月、1月、2月）に

わたって行いました。

(1) まちの課題整理

ワークショップに託されたミッションの1つ目は、まちの課題整理です。これに関しては、先ず問題を出来るだけ多く指摘してもらい、次に、その背景要因を考えて課題を見出し整理する、という手順で行いました。問題の指摘は、1回目のワークショップで「あかしあ台コミュニティのこれまで」をテーマにして、また、2回目のワークショップで「あかしあ台コミュニティのちょっと未来」をテーマにして話し合っていたいただきました。全体で延べ300にもなる多くの問題が出されました。そして、まちの課題は、これらの問題の背景要因を考えて世話人グループで抽出し整理致しました。下図は、このようにして抽出した「まちの課題」について、つながり他8つの分野別に分類し、縦軸を既存か新規か、又、横軸を住民共通か個別かに設定し整理して示しています。この内、最も優先的に取り組むべきものとされたのは、全共通の課題であり、その中でも、住民同士のつながりの希薄化解消でした。



ワークショップの様子

比較検討は、3回目のワークショップで「あかしあ台コミュニティのこれから」をテーマに話し合ってもらいました。下図は、最も多くの方の支持を得た「まちづくり組織のイメージ」です。

この組織のまちづくりの目標は、『みんなが緩やかにつながり、安心して健康で楽しく、誇りを持って暮らせる、住んで良かったと思えるまちづくり』を目指すこととしています。

また、最も優先順位の高いつながりづくり等の全住民共通課題に対しては、新しい組織の事務局を中心にネットワーク型の組織を構築し課題の解決に取り組むこととしています。そして、安全安心等部分共通の課題に対しては、必要により専門部会を設立し取り組むこととしています。

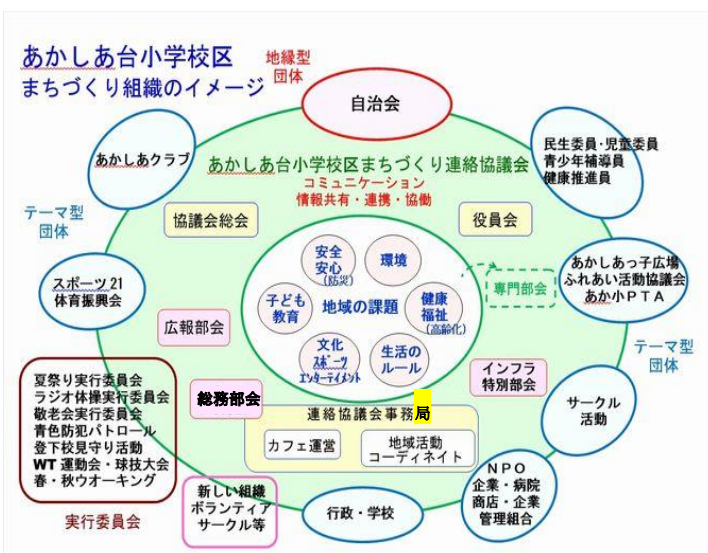
その後、ここで方向付けされたまちづくり組織は、「あかしあ台小学校区まちづくり連絡協議会」として、5月11日に発足致しております。

あかしあ台地域まちづくりの課題整理



(2) まちづくり組織の在り方

ワークショップに託されたミッションの2つ目は、まちの課題解決に向けた組織の在り方の検討です。これに関しては、「まちの課題」の解決を目的とする3つのまちづくり組織のイメージを提案し比較検討する、という手順で行いました。



平成 26 年度の成果と課題

上述の活動を主な内容とするまちづくりの取り組みは、三田市のふるさと地域交付金を活用して行いました。これら平成 26 年度の成果と課題をまとめると、次のように要約できます。

まず、将来を見据えた、地域課題やニーズの掘り起こしとともにまちづくり推進組織づくりに関する成果として、「まちの問題点」と「まちづくりの目標」について概ね共有出来るようになることともにまちづくり推進組織として「あかしあ台小学校区まちづくり連絡協議会」を設立するに至ったことです。ただし、「地域カルテ」については纏めるところまで行けませんでした。

また、顕在化している課題対応にも取り組みました。その内、「青色防犯パトロール」に関する成果は、地域で活動する関係団体が連携して推進できる体制づくりができたことです。そして、名所づくりに関する成果は、丈夫に育つように知恵を出し合っ、あかしあ台公園に「さくら」を植樹することが出来たことです。

今後の課題は、まちづくり連絡協議会活動の実践です。

まちづくりの今後の取り組み

☆まちづくりの目標

【前文】みんながゆるやかにつながり、安心して健康で楽しく、誇りを持って暮らせる、住んで良かったと思えるまちづくりを目指します。

【5本の柱】

- ① 気軽な楽しい交流と面白い出会いのあるまちづくり
- ② まちのことなら皆に伝わるまちづくり
- ③ 様々な地域活性化の活動を様々な団体が連携して担う活力あるまちづくり
- ④ 誇れる緑豊かな都市形成と風格あるまちにふさわしい文化を育むまちづくり
- ⑤ 子どもから高齢者まで安心して健康で楽しく暮らせるまちづくり

☆平成 27 年度の取り組み

平成 27 年度は、まちづくり連絡協議会のスタートの年となります。今年度は、仲間づくりに重点をおいて、下記のとおり取り組みます。

- (1)まち協事務所の開設 (8 月目途)
- (2)まち協事業の周知と参加呼びかけ

(3)まち協事業の推進

- ①気軽な楽しい交流と面白い出会いのあるまちづくり
カフェをコミュニティハウス内に開設します(10 月目途)。その中で、テーマ交流会を開催します。
- ②まちのことならみんなに伝わるまちづくり
コミュニティ情報誌を年 2 回、まち協通信を月 1 回発行します。全住民に配布します。
- ③まちの名所づくり
準備会の事業を引き継ぎ、さくらの植樹事業を拡充実施します。

(4)次年度以降のまちづくり推進施策の検討

残された課題につきまして、具体的な進め方を検討します。懸案の地域カルテは、この中での整備を目指します。

経過日誌

平成 26 年 7 月 20 日 (日)

あかしあ台地域まちづくり推進準備会結成

平成 26 年 8 月 6 日 (水)

ふるさと地域交付金 (モデル事業) 交付決定
事業区分: 組織作り (50 万円)

平成 26 年 9 月 15 日 (月・祝) 10:00~12:00

第 1 回まちづくり推進準備会

平成 26 年 10 月 11 日 (土) 10:00~12:00

あかしあ台まちづくりキックオフミーティング

平成 26 年 10 月 20 日 (月) 14:00~14:30

青色防犯パト出発式

平成 26 年 10 月 31 日 (金) 19:30~21:30

第 2 回まちづくり推進準備会

平成 26 年 11 月 29 日 (土) 12:00~17:00

先進地訪問「千里ニュータウンの 50 年 再生のまちづくりに学ぶ」

平成 26 年 12 月 17 日 (水) 19:30~21:30

第 1 回まちづくりワークショップーあかしあ台コミュニティの「これまで」ー

平成 27 年 1 月 21 日 (水) 19:30~21:30

第 2 回まちづくりワークショップーあかしあ台コミュニティの「ちょっと未来」ー

平成 27 年 2 月 7 日 (土) 9:00~10:00

さくら植樹 6 ヶ所 (土壌改良) 工事立会

平成 27 年 2 月 17 日 (火) 15:00~15:30

ハニーFM で取り組み紹介

平成 27 年 2 月 18 日 (水) 10:00~11:00

さくら植樹立会

平成 27 年 2 月 18 日 (水) 19:30~21:30

第 3 回まちづくりワークショップーあかしあ台コミュニティの「これから」ー

平成 27 年 3 月 7 日 (土) 13:30~15:30

第 3 回まちづくり推進準備会

平成 27 年 3 月 29 日 (日) 13:30~15:30

あかしあ台小学校区まちづくり連絡協議会設立総会